

えひめの歴史文化モノ語り

県歴博収蔵資料から ⑪

県歴史文化博物館は、こ

の11月で30周年を迎える。

その記念特別展として現

在「国絵図の世界 甞（よ

みがえ）る正保伊予国絵図」

（24日）を開催している。

国絵図とは、江戸幕府が

全国の大名に命じて作らせ

た国単位の絵図を指す。正

保伊予国絵図は南北が7・

5び、東西が7・48びで、

全国の国絵図の中でも最大

級となっている。その巨大

な絵図を折り畳んで保存す

るため、折り目への負荷が

大きく、一部の折り目が裂

けて二つに分断された状態

であった。それを安全に取

り扱えるようにするため

に、2022、23年度の2

年間かけて修復を行った。

今回の展示では、その修復

過程も多くの写真で紹介し

正保伊予国絵図



道後温泉に「湯釜」 秀逸

示ケースも当然なく、修復
した絵図をどのように展示
するのかが、悩みの種となっ
た。最終的には、展示室内
に8畳四方の仮設の展示台
を設置、学芸員が7人がか
りで絵図を広げた後、ホコ
リよけのビニールシートを
観て眺めているだけでも

【紙面編集】伊藤絵美
絵図には興味深い描写が
いろいろとあるが、一番お
もしろいと思ったのは道後
付近である。道後村と記さ
れた小判形の村形の下に
「湯」とあるのが道後温泉
で、その横には石造の湯釜
が描かれている。名所の描
写について統一基準はな
く、絵図を作製した国元の
判断に委ねられたものと思
われるが、絵師が道後温泉
を象徴するものとして湯釜
を描き込んだのだろう。簡
潔でありつつも、道後温泉
を示す秀逸なランドマーク
といえる。

諸大名に作製を命じた江戸
幕府の権威がいかに強かつ
たかが伝わってくる。ただ、
残念なのは大きさが仇（あ
だ）となって、展示では細
かい描写まで見ることがで
きないということ。それを
補うために、博物館では展
示に先行してホームページ
の「絵図・絵巻デジタルア
ーカイブ」に正保伊予国絵
図の高精細画像を公開し

「正保伊予国絵図」のうち、
道後周辺の部分拡大。左上
が道後温泉、中央が右手寺、
左下が河野古城（湯築城）

（学芸課長・井上淳）
〈随時掲載します〉